



くじ

市議会だより

第28号

2012年
(平成24年)
8月1日発行



—プールで遊ぶ長内小学校の児童たち—

主な内容

- 市議会を読む 6月定例会 2～3
- 委員会の審査から 4
- 一般質問・各会派の関連質問 5～11
- 傍聴席からひとこと 12

地震津波等災害復旧経費に11億2400万円を計上

人事議案など7議案を可決・同意

第6回市議会6月定例会は、6月14日から6月26日までの13日間の会期で開かれました。6月定例会では、平成24年度一般会計補正予算、副市長の人事議案など市長提出議案7件について審議し、すべての議案を可決、同意しました。

一般質問では、各会派を代表して5人、個人で1人の議員が市政の諸問題について質疑を交わしました。



姉妹都市クライペダ市の街並み

補正予算

●平成24年度一般会計補正予算(第2号)

今回の補正は、東日本大震災復興交付金事業や5月補正予算編成後に対応が必要な経費などを計上し、歳入歳出に27億1924万円を追加し、補正後の予算総額を259億1982万1千円とするもので原案のとおり可決しました。主な補正の内容は次のとおりです。

- 地震津波等災害復旧経費 津波等により発生した災害廃棄物の処分等災害復旧事業 11億2443万8千円
- 地域支え合い体制づくり事業費 障害児等支援事業所立ち上げに対し初年度経費を補助するもの 350万円
- 被災者住宅再建支援事業費補助金 東日本大震災により自宅を失った被災者が市内で住宅を建設または購入する際の経費の一部を補助するもの 3150万円
- 小袖海女センター建設事業費 津波により流失した海女センターの再建事業 1億389万2千円
- 水産業共同利用施設復興整備事業費補助金 水産物加工流通施設整備、水産物鮮度保持施設整備補助金 6億5625万円
- 漁業集落防災機能強化事業費 集団移転のための用地取得費など 3億7115万1千円
- 復興関連道路新設改良事業費 復興に関連する市道の新設改良を行うもの 2億8851万1千円
- 防災行政無線整備事業費 防災行政無線のアナログ方式からデジタル方式への整備 9650万円
- 津波避難施設整備事業費 久慈湊、元木沢、久喜地区津波避難施設整備 4600万円
- 避難路整備事業費 久慈湊・大崎地区から避難場所を結ぶ避難路の整備 1670万円
- 現年発生単独災害復旧事業費 今冬の異常な低温により被災(凍上災)した道路の復旧事業 8172万5千円

条例等

6月定例会では、5件の条例等の議案を審議、可決しました。

- 印鑑条例の一部を改正する条例 外国人登録法廃止に伴い、外国人住民を住民基本台帳に登録することとされたことに

人事

副市長に星文雄氏(東京都立川市)を選任することに同意しました。

その他の議案等は、「議案等審議結果」及び4ページの「委員会の審査から」に掲載しました。

議員発議案

- 公的年金の削減に反対する意見書の提出について
- 医療従事者の増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について

詳しくは、最終ページの「意見書」をご覧ください。

第5回臨時会

臨時会は5月21日、会期1日の日程で開催しました。

また、市長提出議案7件について審議し、いずれも原案のとおり承認可決しました。

議案等審議結果

第5回市議会臨時会

- 【補正予算】
- 平成23年度久慈市一般会計補正予算(専決第3号)の専決処分に関し承認を求めることについて 承認=全会一致
 - 平成24年度久慈市一般会計補正予算(第1号) 原案可決=賛成多数
 - 平成24年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 原案可決=賛成多数
 - 平成24年度久慈市市場事業特別会計補正予算(第1号) 原案可決=全会一致
 - 平成24年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 原案可決=全会一致
- 【条例等】
- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて 承認=全会一致
 - 市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて 承認=賛成多数

第6回市議会6月定例会

- 【補正予算】
- 平成24年度久慈市一般会計補正予算(第2号) 原案可決=全会一致
- 【条例等】
- 印鑑条例の一部を改正する条例 原案可決=全会一致
 - 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 原案可決=全会一致
 - 久慈市デジタル防災行政無線施設・設備災害復旧工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて 原案可決=全会一致
 - 岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて 原案可決=全会一致
 - 災害弔慰金等支給審査会の委員の任命及び平成23年東北地方太平洋沖地震及び津波に係る災害弔慰金等支給審査会の運営に関する事務を岩手県に委託することの協議に関し議決を求めることについて 原案可決=全会一致
- 【人事】
- 副市長の選任に関し同意を求めることについて 同意=賛成多数
- 【議員発議案】
- 公的年金の削減に反対する意見書の提出について 原案可決=全会一致
 - 医療従事者の増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について 原案可決=全会一致

人事

●副市長の末崎順一氏(長内町)が退任しました。(5月14日付)

●平成23年度久慈市一般会計補正予算(専決第3号)の専決処分に関し承認を求めることについて

●平成24年度久慈市一般会計補正予算(第1号)

●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて

●市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて

総務

総務委員会に付託された議案1件を審査しましたので、概要を紹介いたします。

●久慈市デジタル防災行政無線施設・設備災害復旧工事の請負契約の締結に關し議決を求めることについて

デジタル防災行政無線施設・設備災害復旧工事を施工するにあたり、現行のアナログ通信方式をデジタル通信方式として整備するもので、北日本通信株式会社・高畑電機株



デジタル化される防災行政無線施設

式会社特定共同企業体と請負契約を締結しようとするものです。

【問】 工事の概要は、防災行政無線施設・設備の親局1局、遠隔制御局9局、中継局2局、屋外拡声子局262局、災害監視カメラ14箇所、文字情報標示盤14箇所、戸別受信機175台を、一体的にデジタル通信方式へ移行し、平成25年3月までの完成を予定しているものです。

【問】 今回の工事により設備の全てがデジタル化されるのか。

【答】 山形地区の戸別受信機については、現行のアナログ方式で使用する。

【問】 デジタル化のメリットは。

【答】 監視カメラの設置や主要道路への文字情報標示盤の設置により、情報収集・情報提供態勢が強化される。

そのほか、防災行政無線の緊急時における住民利用のあり方などについて、質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案4件、請願2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

本条例は、災害弔慰金の支給等に関し、市長の諮問に応じ重要事項を調査審議するため、災害弔慰金等審査会を設

置しようとするものです。

災害弔慰金は、震災に直接起因する死亡と区別して、震災後の避難所生活の継続など、環境の変化により体調を崩して死亡した場合等の、「災害関連死」として判定された場合にも支給されるが、「災害関連死」の判定が困難な場合などに、適切に対応するため、審査会が開かれます。

【問】 どのように制度の周知をしているのか。

【答】 市のホームページや市広報にも掲載している。周知方法については、今後とも検討を重ねてまいりたい。

【問】 自殺は、災害関連死に認められるか。

【答】 認定基準によれば、一概に関連性を否定するものではなく、精神的疾患が震災を契機としたストレスで発症又は、悪化したものと推定される場合は、関連性が認められることになる。

そのほか、災害関連死関係の相談会の実施などについて

進めてまいりたい。

【問】 市街地地区の雨水排水整備計画は。

【答】 事業認可されている雨水排水ポンプ場の設置箇所は15ヶ所であり、門前、中央、西の沢が完成し供用開始されている。川崎町は、今年度から着工し、平成26年度完成を目指している。

今後とも財政状況を勘案しながら順次整備してまいりたい。

【その他の質問項目】復興計画について／自治体クラウドについて／教育旅行受入れについてほか



八日町の消防署分室

一般質問

清風会 小柳正人 議員

「あまちゃん」放送決定の経過と今後のPR策は

市長—各種機関と連携して受け入れ支援とPRを行いたい

【問】 来年4月スタートのNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」の放送決定に至る経過と今後のPR策は。

【答】 NHKでは、三陸の海で活躍する女性をドラマ化したいと検討した結果、北限の海女をテーマとしたテレビ小説「あまちゃん」製作を、6月4日に正式発表しました。

この番組を通じ、久慈地域の魅力を全国に発信する絶好の機会と捉え、隣接する市町村、商工観光関係団体と連携を図り、受け入れ態勢、支援体制を整えながら、あらゆる面でのPRを行うてまいりたい。

【問】 再生可能なエネルギーの地産地消を基本に雇用の創出を目指し、環境にも配慮した「スマートコミュニティ」について、当市へ導入の考えは。

【答】 昨年、大学等研究機関、民間企業等とともに「スマートコミュニティ」導入の可能性を研究したところである。それらを精査しながら、当市に賦存するエネルギー資源の活用にとつひとつ取り組みつつ、それらの連携を図ること

【問】 「やませ土風館」周辺に点在する十二支巡りは、無病息災などのご利益をもたらすと言われ、パワースポットとして発信すれば観光資源、市街地活性化にもつながると思

【答】 十二支巡りのルートは、観光資源として市街地活性化にもつながるものと認識している。今年度当初予算に一〇〇万円を計上して散策路、階段、手すり等の改修や案内板の整備を行う。今後も多くの方々から散策を楽しんでいただけるようなルート整備を

議員表彰

5月23日に東京で開催された第88回全国市議会議長会定期総会において、2人の議員が特別表彰されました。

表彰状は、6月定例会において八重櫻議長から伝達されました。

○特別表彰（25年以上）

小野寺 勝也 議員 濱 欠 明 宏 議員

質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

一般質問は、6月19日・20日の2日間行われ、各会派を代表して、小柳正人、下川原光昭、濱欠明宏、上山昭彦、城内仲悦の各議員が代表

質問を、梶谷武由議員が個人質問を行いました。また、各会派では関連質問を行いました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

各会派の関連質問

清風会

◆高屋敷 英則 議員

山形小学校の新築について

【問】 子どもたちの教育環境の整備という点からも山形小学校新築の考えは。

【答】 新築については、子ども達の学びの環境整備ということから学校再編を逐次進めてきており、改築に向けて検討していきたい。

【その他の質問】 平庭高原の今後の整備について

中心市街地活性化基本計画について

市長—第1期計画を検証のうえ第2期計画に取り組み

【問】中心市街地活性化基本計画2期目の取り組みについて問う。

【答】平成19年5月に国の認定を受けた「久慈市中心市街地活性化基本計画」は、本年度で計画期間が終了するが、第1期計画を検証しながら抽出された課題解決への取り組みを、第2期計画案に盛り込んでまいりたい。

【問】誘致企業に対する支援策について問う。

【答】企業立地促進事業費補助や、企業立地促進資金に係る利子補給補助ほか固定資産税の減免などを行っている。

また、いわて産業振興センターなどの産業支援機関や県工業技術センター、岩手大学などの研究機関を紹介し、技術や販売・資金繰り等の支援を行っている。

【問】久慈川・長内川・夏井川など河川敷整備計画と利活用について問う。

【答】東日本大震災の復旧・復興事業を優先的に進めており、河川敷の整備については「人と自然との共生」を基本に川づくりの整備手法等について検討することとしている。河川敷の利活用については、



回遊性、活性化が待たれる駅前周辺

収益を目的としない公共性の高い団体等に関しては可能であると、県北広域振興局土木部から伺っている。

久慈湊小学校 移転新築は

【問】久慈湊小学校の移転新築について問う。

【答】(教育長) 東日本大震災の被害からの復旧復興事業として実施できるよう岩手県教育委員会を通じ、国へ働きかけを行っている。今後とも予想される大地震・大津波に対する備えはもとより、児童の生命を守り、安全で安心して学べる環境を備え、地域防災の拠点として、学校の果たす役割が非常に大きいと考えており、引き続き関係省庁に粘り強く働きかけてまいりたい。

◆畑中 勇吉 議員

放射線被害への補償請求は

【問】放射線量が基準値以上だった草地58ha分の各農家への飼料補償は。また、漁協、森林組合などの過去の水揚げや生産データが津波により失われるなどの被害がなかったか。

【答】放射線量が基準を超えた農家補償として、6月末現在55tの飼料補償がされている。漁協、森林組合の過去の水揚げ・生産データの津波被害はなく補償請求データとして保管していると同伺っている。

【その他の質問】八戸・久慈自動車道工事車両増大にかかる安全対策について

創政会

◆藤島 文男 議員

市道久慈夏井線について

【問】避難道路としても重要と考えるがどうか。

【答】県道への昇格は合併した昭和29年当時の問題で、今まで交渉、要望してきたところである。避難道路というのも、一つの方法であるかどうかを含めて県に要望し、

この事業が前進するよう努力してまいりたい。

【その他の質問】国道281号大成橋南側への信号機設置について

◆桑田 鉄男 議員

道路の凍上被害について

【問】県道侍浜夏井線から侍浜小学校に至る市道の歩道凍上被害の対応について。

【答】9月査定で災害と決定になれば当該年度のうちに発注できる。今後の状況を見て通行に支障がないよう対応してまいりたい。

【その他の質問】震災がれきについて

◆下館 祥一 議員

津波避難マニュアルについて

【問】津波浸水想定区域内の学校、保育園等の避難マニュアル作成状況は。

【答】(教育長)津波浸水想定区域内の久慈湊小学校、長内小学校については、昨年度の段階で危機管理マニュアルの見直し、改善がすでに図られており、関係機関や保護者等との連携した実践的な避難訓練も実施している。

政和会

◆砂川 利男 議員

被災住宅の復旧について

【問】被災された方々の、住宅の復旧に対してどのような取り組みをしているか。

【答】集団移転を予定しているのは、4力所、34戸の方々と捉えており、15戸については、公営住宅、市営住宅などで対応し、ほかの方々については、4地区で最終的な意志を確認し、移転先を確保していきたい。

【その他の質問】歴史と文化を主体とする復興について

◆小倉 建一 議員

首長の多選自粛条例は

【問】多選自粛は、何期を上限と考えているか。また、今期中の提案はあるか。

【答】上限や条例の提案についても種々検討している。いろいろな議論があるが、一般的な判断は3期、長くて4期が妥当と考えている。

東日本大震災復旧・復興見える形に

市長—復旧・復興から飛躍に



久慈川にかかる湊橋

【問】河川堤防高上げ等に伴い湊橋かけ替えが予定されるので、5月初めに死亡事故が発生した。早急な整備が必要と思うが整備計画の現状は。

【答】東日本大震災による河川堤防高の見直しがされ、河川堤防の嵩上げ工事と合わせ久慈川の湊橋と夏井川の大湊橋のかけ替えも計画されている。湊橋については、産業道路や避難道路としての重要性を有しており、車道部の拡幅や歩道の整備など県と綿密な検討を進めていきたい。

【問】県道野田長内線について、東大野振興局長時代に、振興局予算3億円を配分し改良する計画があったが進捗状況は。

【答】昨年度末の進捗率は、予算ベースで約16%であり、震災により整備完了の事業期間が延長を余儀なくされているが、復興関連道路に位置づけられていることから早期完成を目標に取り組んでまいりたいと県北広域振興局土木部より伺っている。

【問】長内地区土地区画整理事業の中止は今でも妥当と認識しているか。

【答】事業推進に対する理解が得られなかった権利者は4割であり、その面積は全体の5割であったことから、県公共事業評価委員会の承認を得、平成15年11月、中止を決定した。

事業の実施には相当数の賛同者がなければ進めることができないことから、事業の中止は妥当とらえている。

【問】東京電力に除染経費、影響補償の賠償請求したか。また、牧草地等の放射能汚染

は海の幸にも影響することから、汚染状況について問う。

【答】県と連携し、市で直接負担した空間放射線量測定業務等に係る経費を、第1次請求として本年1月26日に行った。牧草地等の汚染状況については、県が実施した公共牧場の放射性物質調査の結果、市内9カ所28地点、すべて新基準値の100ベクレル以下である。

【問】小女子の不漁など生態系の変化・異常の原因は。また、水揚げ単価の安値により生産者所得に大きな影響が生じているが支援策は。

【答】県北沖の海水温の低下などにより、不漁となったと県水産技術センターから伺っている。今後の市場の動向を注視するとともに原発事故による風評被害も視野に入れ、生産者の所得確保について、関係機関・団体等と連携を図りながら、適切に対応してまいりたい。

【その他の質問項目】行政組織について/職員人事について/ドーム型施設について/国体について ほか

小屋畑橋橋梁下部の堆積土砂対策は

市長―河川の適正な維持管理について県に要望する

て県に要望していく。

上長内地区南側住宅 地へ消防水利の整備を

【問】上長内地区の小屋畑川にかかる小屋畑橋の下は、上流部から流出した土砂により、川の流れが極端に狭くなっている。今後の大雨で市道に溢れ出す恐れがある状況だが、土砂の撤去等の対策は。

また、国道45号東側から小屋畑川に流入する沢は、県の指定する土砂災害危険箇所であり、そこから流出した土砂が国道45号と三鉄の水路を通り、民家付近に流出している。土石が流れ出ないように、根本的な対応策が求められるが。

【答】小屋畑橋下部を含め、河川の流下能力に支障をきたすなど緊急を要する箇所から優先順位を考え、順次撤去していくと県北広域振興局土木部から伺っている。市として、河川の適正な維持管理について



消防水利が待たれる上長内住宅地

【問】上長内地区の市道上長内線南側の住宅地は、袋小路となつている場所に三十数戸が立ち並んでいるが、消火栓等の消防水利が設置されていない状況だ。住宅地周辺に、問題解決に努めたい。

【答】市道上長内線南端部住宅地の消防水利の必要性は、十分認識している。今後は、地元住民及び消防団等と連携し、適切な消防水利の設置に向け検討を重ね、一日も早い問題解決に努めたい。

【問】久慈市中心市街地活性化基本計画は、当初の計画期間5年間を1年間延長したが、延長した目的と具体的な施策、また、目標値や効果は。

【答】国から「第1期の計画を1年間延長し、その間に第2期の計画案を策定して、さらなる中心市街地の活性化を図るべき」との意見があり、中心市街地の活性化に向けた

事業を進める必要があると考え、第2期計画を策定すべきとの結論に至った。計画策定作業の中で、中心市街地活性化のために取り組むべき事業を選択し、盛り込んでいく。新しい事業はソフト事業であり、数値の変更はない。2期目に向けての調査等も加えながら進める。

【問】市道上長内下長内線は、路面の穴あき等が見られ、梅雨時は、修復した箇所の破損が拡大してしまう状況である。路面の全面改修を行う必要性を強く感じるが、凍上災の災害箇所とはならないか。

【答】凍上災は、採択要件が厳しく、現在当路線を含め損傷度合いを調査中である。今後とも計画的な補修に努めてまいりたい。

【問】市道は、町内会単位に自主防災組織の立ち上げを推進しているが、できるだけ小さい範囲での対応が不可欠だ。地域公民館に太陽光発電装置と蓄電池の設置を図り、48時間電気を供給することで避難住民の安全を確保すべきと思うが。

【答】電源確保対策として、新たに34台の小型発電機を整備し、合わせて約60台になった。今後とも整備・配備方法について検討していきたい。【その他の質問項目】放射能対策について／学校給食について ほか

◆大沢 俊光 議員

市庁舎の危機管理について

【問】地震による被災を想定した危機管理と災害対策本部の機能強化について

【答】耐震診断後に、市庁舎における災害対策本部の機能保全を優先課題のひとつとして取り組んでいきたい。

【その他の質問 職員人事について ほか】

新 政 会

◆澤里 富雄 議員

公用車のCO2排出対策は

【問】環境意識の高まりを背景に、低公害車の普及が大幅に伸びてきているが、当市公用車のCO2排出対策の取り組み状況は。

【答】当市では合併以来、特殊車両を除く公用車導入に際し、地球環境に配慮しハイブリッド自動車や低公害車を選定している。本年3月には電気自動車1台を配備するなど意識啓発に努めており、バスなど大型車両についても検討していきたい。

【その他の質問 節電対策 ほか】

◆木ノ下 祐治 議員

伐採後の国有林へ再造林を

【問】国有林の伐採された跡地が植林されないまま放置されている状況が各所に見受けられる。山林を保護するため再造林すべきでは。また、山林経営をする上で久慈市独自の仕組みを作るべきでは。

【答】国有林の伐採跡地の状況は、届出書では、国有林に限らず伐採後は天然更新する届け出が多く見られ、再造林による更新は少ない現状にある。森林の持つ公益的機能が高度発揮されるよう、久慈市森林整備計画に基づき、伐採跡地の適切な更新を指導する。【その他の質問 教育旅行の受け入れ ほか】

◆中塚 佳男 議員

JR踏切避難道の拡幅を

【問】東日本大震災で避難する際、車両等の通過に、さらには歩行者が線路を渡る場合に踏切が狭く、安全性の確保のために、踏切避難道の拡幅をJRに強く要望すべきではないか。

【答】今回、復興事業の避難道路として、整備を進める路

ごみ処理の広域化の見直しを図れ

市長一國・県の方針と指導なので困難



現在の久慈地区ごみ焼却場

もぐららんぴあ の安全対策は

【問】もぐららんぴあ再建にかかる安全対策について①再建施設の安全対策、②水族館への道路は津波常襲地域で、車の渋滞が予想される。避難・周知方法を示せ。

【答】①日本地下石油備蓄株式会社と復旧工事に向け協議中だが、遠隔操作で開閉できる防潮扉の新設、避難用連絡坑道（トンネル）の整備を行う。②パンフレット等への避難経路の掲載、避難経路看板の設置、さらに関係機関と連

携した定期的な避難訓練を実施する。

【問】復興事業も緒についたばかりで現場での仕事量が増大している。①職員定数削減の見直しを図るべき、②震災復興特別交付税を活用して職員採用を図るべき、③庁内での職員配置に検討を加え改善を図るべきではないか。

【答】①総人件費の適正化に努めながら、事務事業量の増減に応じた職員の適正配置に努める。②有利な財源措置による職員確保について、情報収集に努めながら取り組む。③4月1日付で職員配置の見直しを行い事務量の増加が見込まれる課に増員した。

【問】ごみの広域化処理について岩手北部広域環境組合が設立されているが、①ごみ収集運搬費用の負担方法について、二戸地区と久慈地区の間で格差が大きいことから問題が先送りされていると聞くが事実か。②環境省によると循環型社会形成推進交付金は「広域化計画に位置付けられた施設でなければ交付されない」という対応はしていないと

【問】ごみの広域化処理について岩手北部広域環境組合が設立されているが、①ごみ収集運搬費用の負担方法について、二戸地区と久慈地区の間で格差が大きいことから問題が先送りされていると聞くが事実か。②環境省によると循環型社会形成推進交付金は「広域化計画に位置付けられた施設でなければ交付されない」という対応はしていないと

地域防災計画の見直し状況は

市長 — 地域の実状を踏まえながら見直ししていきたい

【問】東日本大震災を受けての地域防災計画の見直しの状況と女性の意見の取り上げ方法、放射能対策、消防団員等避難支援従事者の安全確保は、

半崎にあった防災機材倉庫は津波で流失した。防災機材倉庫の設置場所の再検討、機材の点検や整備計画は。

【答】県で防災計画の見直しがあったことから、今年度中に当市でも見直しを行う。防災会議の女性委員は32名中2名と少ないが、地域の声を聞く際に女性の意見を反映させていく。放射能対策については現段階で県の計画には入っていない。消防団員等の安全確保についても検討していく。防災機材倉庫は流されたものと同様のものを来年3月までに再建するが、倉庫だけではなく、ある程度中核的施設

風力発電による被害防止を

【問】風力発電の風車の振動や騒音による被害、鳥の衝突の事故などが発生しているが、

【答】現在、待浜・長内・宇部地区で風況調査を行っている。環境面に配慮し、騒音・低周波音等社会環境調査や鳥類等の棲息状況を含む自然環境調査を実施し、影響が懸念される時は対策を検討する。

【問】台風や強風時に廃屋等の屋根や外壁等が飛散し、通行人や近隣の住民が不安を感じる可能性がある。状況の把握と建物所有者への指導は。

【答】状況把握は消防の巡回時に行っている。一般住宅については指導が行き届いていないのが現状で、安全な生活環境をつくるために関係機関等と検討していきたい。

【その他の質問項目】
飼い犬のふん対策について／少子化対策について／燃料用ペレット製造支援について



適切な管理が望まれる建物

【問】状況把握は消防の巡回時に行っている。一般住宅については指導が行き届いていないのが現状で、安全な生活環境をつくるために関係機関等と検討していきたい。

【その他の質問項目】
飼い犬のふん対策について／少子化対策について／燃料用ペレット製造支援について

線については、踏切が通行の妨げにならないよう、前後の道路計画幅員に見合った踏切幅に拡幅するため、JRと協議を進めている。久慈湊小学校から源道への避難路も、車両が通行できるよう市道整備を行い、避難道路として拡幅し安全性を高めたい。

◆中平 浩志 議員

【問】再生可能エネルギーについて

【答】滝ダムの水力活用を含めた当市における再生可能エネルギーの具体的な将来ビジョンについて。

【問】近隣自治体では、洋野町において洋上風力発電の事業可能性調査を実施しているほか、大規模太陽光発電施設の建設が計画されている。当市では、大規模太陽光発電や風力発電の導入に向け検討を進めており、滝ダムの活用も含め事業の実現に向け、一歩一歩着実に取り組んでいく。

【その他の質問項目】
NHK朝の連続ドラマ ほか

◆小野寺 勝也 議員

【問】岩手北部広域組合の可燃ごみ処理施設の節減額は。

【答】組合の試算では、15年間で10億円ほどの削減が見込まれると説明している。焼却炉の規模、ごみの収集、運搬等未定の部分があるため、今後、精査し実態に合わせた試算が必要と考えている。



平成25年度重点事項要望書案を了承

継続要望9件を県北広域振興局へ

全員協議会

6月26日、市長からの要請により、議員全員協議会が開かれました。

協議会では、岩手県に対する「平成25年度重点事項要望」について協議が行われ協議案は了承されました。

この要望は岩手県における次年度予算等への反映と久慈市政に対する積極的な支援・協力の要請を目的に、例年実施されているものです。継続要望9件が、県北広域振興局長へ手渡されます。

要望の概要は、次のとおりです。

1 東日本大震災からの生活再建・なりわいの再生に係る支援について

なりわいの再生支援、及び放射能対策に係る支援について
総合的な支援を要望。
2 先導的な復興プロジェクトに関する支援について
「防災拠点整備」、「復興道路及び復興支援助道等の整備促進」など復興プロジェクトの早期実現を要望。
3 防災基盤の整備強化について
復興計画に掲げる「災害に強いまちづくり」の実現のため、久慈港湾口防波堤の整備促進、河川の整備促進、海岸水門の改善など総合的に要望。
4 県北沿岸地域における経済・雇用対策の充実について
雇用環境の地域間格差の解消に向けて、再就職者及び新卒者を対象とした雇用対策、地域特性を考慮した産業の育成及び企業の誘致のための立地用地の確保等の経済・雇用

対策について更なる支援を要望。
5 エコパーク平庭高原整備事業の推進について
地域の観光資源を生かした観光振興と交流人口の拡大のため、宿泊施設の整備及び久慈平庭県立自然公園の整備促進について要望。
6 海業・山業・里業の振興に対する支援について
豊かな農林水産物と美しい自然や伝統文化を融合させた産業・観光振興策である「海業・山業・里業」について総合的な支援を要望。
7 地域内交通の円滑化について
市中心部から久慈東高校、夏井町及び洋野町水沢地区を経由し、一般道大野山形線に接続する路線の県道昇格、市道久慈夏井線の久慈東高校から夏井町に至る区間および市

道川井関線の県代行業への採択を要望。
8 岩手県立久慈病院の医師の確保等について
「中核的総合病院として地域医療を確保するための常勤医師の確保」、「質の高い医療を提供するための医療従事者の確保」及び「周産期母子医療体制の充実強化」について要望。
9 ドクターヘリの運航について
県境を超えた運航について関係する県との早期協定の締結及び本県全域をカバーするための複数機での運航を要望。

地域の基幹事業であると認識しており、漁港・漁場・漁村生活環境基盤や海岸保全施設の復旧整備等、予算化されている。
【問】ドクターヘリの運航は、半径50km以内15分以内が効果的であるというが、複数機配置は、中継基地を設ける想定をしているのか。
【答】岩手県は、県土が広く本県全域をカバーするには複数機必要であるとの要望であり、中継基地まで想定している要望ではない。

主な質疑の内容

【問】昨年要望した事項で、平成24年度予算に盛り込まれているものは。
【答】県では、水産業は久慈



ドクターヘリによる合同訓練の様子

意見書

公的年金の削減に反対する意見書 ほか1件

内閣総理大臣ほか関係大臣等へ提出

6月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などに提出しました。

■公的年金の削減に反対する意見書

〔概要〕厚生労働省は、平成12年から平成14年に実施された「特例水準」を解消するとして、3年間で2.5%の年金引き下げを行うとしています。当時、政府は高齢者の生活実態と、経済への悪影響を考慮して、年金額を据え置いたものであり、適切な措置であったと思います。高齢者を取り巻く状況は当

時と比較しても、ますます厳しさを増しているにもかかわらず、「特例水準解消・2.5%削減」を強行することは、高齢者の生活を守る立場から、地域経済を活性化する立場からも認めることはできません。以上の趣旨にかんがみ、公的年金の2.5%削減は行わないよう強く要望するものです。

〔概要〕医師・看護師・介護職員等の増員を実現し、安全でゆきとどいた医療・看護・介護の拡充を図るため、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。医療・社会保障予算を増やし、医師・看護師・介護職員などを増員すること。国民負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現することを強く要望するものです。

編集後記

広報編集特別委員会

委員 上山昭彦

六月十四日から始まった六月定例会は、二十六日までの十三日間となりました。

今議会は、先ごろ報道されたNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」に関わりながら、久慈市を日本国中に発信する大チャンスであることから、観光に関わること・中心市街地活性化基本計画など産業振興に関する意見がいつも増して多く交わされたように思います。

また、二回目の配分があった復興交付金についてや当市として今後考えていかなければならない、風力や太陽光等の再生可能エネルギーについても活発な論議がなされました。

まだまだ復興段階の初期にある久慈市ではありますが、一步一步確実なる発展に向け歩んでいかなければなりません。

傍聴者もひと頃よりは少しではありますが増えてきているような気がします。議会報や新聞・テレビを通じて、又、議員個々の活動などにより、市政の事を知るきっかけになると思われませんが、傍聴して議員と当局側とのやり取りを見聞きすることが、何より市政を分っていただけける機会になると思います。

震災後は、特に市民の視線を大事にした久慈市議会が求められているように思います。

迫力ある議会

大沢 律子さん

久慈市長内町



「声の広報・おとさた」は、久慈市の広報、議会だより、社協だより等を読んで伝えるボランティアです。議会だよりを読むたびに「百

傍聴席からひびく

聞は一見に如かず」と思いながら、この度の6月定例会で実現しました。

議会ライブは「お伺いします」「お示しください」と美しい日本語が交わされていて、読みの参考になりました。活動のなかで反映していききたいものと思います。

来春スタートする「NHKテレビ小説」が質問項目に多く取り上げられていました。全国に発信するチャンスに「有効」と誰もが願うところでしょう。旅行客らしい人をよく見かける昨今、放送効果でさらに客足が増すものと期待する一方「久慈駅前前の景観に目を向けてほ

しい」と、願っています。日頃、感じている一つを要望とします。ふるさとを愛し、地域を想い、さらに地域に留まらず久慈市全体に目配りしている議員方の迫力ある質問と、市当局の真摯な答弁を目の当たりにして熱いものを感じました。

また、知らずに生活していることが明らかになる情報もあり二日間（午前のみ）の体験は「ぜひ、座ってご覧ください」と、多くの市民にお勧めしたい席でした。

傍聴席からは質問議員の顔が見えませんでしたので、モニター画面があったらいいのでは？と、ふっと感じました。

◆久慈地域雇用創造推進事業 特別講演会開催のお知らせ

朝ズバツ！のレギュラーコメンテーターの北川正恭(まさやす)氏による講演会を下記日程により開催します。

平成24年8月29日(水) 久慈グランドホテル
午後2時～「震災と地域人材について」 午後4時～「議会改革について」

聴講を希望の方はあらかじめお申し込みください。

久慈地域雇用創造協議会 ☎ 75-3032



再生紙と大豆インクを使用しています